

全職員で協働して実践する各教科指導における ICT の効果的な活用
～タブレット端末活用研修パック「+タブレ 2.0」を活用した校内研修を通して～

利府町立利府中学校 教諭 齋藤 秀峰

1 はじめに

本校では宮城県総合教育センターで令和元年度に作成されたタブレット端末活用研修パック「+タブレ 2.0」(以下、「+タブレ 2.0」)を自校の実態に合わせて工夫しながら活用し、計画的かつ継続的に教師を対象とした校内研修を行っている。それにより、教師の ICT を活用した協働学習・個別学習の推進につながり、各教科で日々実践されている。

本稿では、校内研修の概要、「+タブレ 2.0」を活用した校内研修の実践、ICT活用した各教科の実践例について紹介する。

2 校内研修の概要

「+タブレ 2.0」を活用し、児童生徒がタブレット端末を活用する協働学習・個別学習についてステップ 1「イメージを持つ」、ステップ 2「体験する」、ステップ 3「授業実践する」、ステップ 4、「共有する」という 4 つのステップで校内研修を行っている。本校では以下の日程で校内研修を行った(表 1)。

表 1 校内研修の内容一覧

実施日	研修形態	研修内容
R2.6月13日	ステップ 1	イントロダクション動画の視聴
7月9日	ステップ 2	MiyagiTouch, Kyenote
10月29日	ステップ 2	フォーム
11月19日	ステップ 2	ドライブ, サイト, Meet
12月16日	ステップ 3	模擬授業: 国語, 数学, 道徳, 保体
R3.4月5日	ステップ 1	各教科等の指導における ICT の効果的な活用に関する解説動画の視聴(文部科学省)
5月19日	ステップ 2	Classroom, スプレッドシート
6月16日	ステップ 2	Clips, 思伝黒板
7月7日	ステップ 3	研究授業: 理科, 社会, 技術
7月7日	ステップ 4	実践の共有
8月3日	ステップ 3	模擬授業: 数学, 英語, 美術
8月3日	ステップ 4	前期の各教科での実践の共有
10月5日	ステップ 3	研究授業: 数学, 保体, 英語
12月8日	ステップ 3	研究授業: 国語, 数学, 音楽

3 校内研修の実践について

(1) ステップ 1「イメージを持つ」

本研修では、タブレット端末を活用した協働学習・個別学習のイメージを持つために「+タブレ 2.0」のイントロダクション動画(約 15 分)を視聴した。研修後のアンケート調査では「児童生徒がタブレット端末を活用する授業のイメージは持てたか」という質問に対して、92.3%の教師が「持てた」「どちらかといえば持てた」と回答し、その後の授業実践やステップ 2 への意欲の向上につながった。

(2) ステップ 2「体験する」

本研修では活用事例動画を視聴し、実際にタブレット端末を操作しながら活用場面や活用方法を理解することをねらいとして行った。

研修会担当者が 8 本の活用事例動画の中から学校の実態に応じて選択した動画を視聴し、受講者が動画で視聴した事例について実際にタブレット端末を操作して体験した(図 1)。



図 1 ステップ 2 の様子

(3) ステップ 3「授業実践する」

本研修では、ステップ 2 での活用体験を基に授業実践を行うことで、授業者と参観者が ICT 活用に対する理解を深めたり、授業者一人一人のスキルを高めたりすることをねらいとしている。

理系、文系、実技の 3 グループに分かれており、授業提供者のグループ全員が授業を参観する。研究授業や模擬授業の日程と授業者を年度始めに決定しておく。特に模擬授業に関しては、

授業者のグループの教員が生徒役になって参加することにより、ステップ2の研修効果も得ることができたと考える(図2)。



図2 模擬授業の様子

(4)ステップ4「共有する」

本研修では、互いの実践事例を共有し、実践上の具体的なアイデアや悩み、解決策等について情報交換を行うことでICT活用に関する理解を深めることをねらいとしている。共有の仕方について2通り行っている。

1つ目は研究授業、模擬授業後の授業に関する共有である。各グループの事後検討会でICTの効果的な活用についてJamboardを活用しながら話し合う。その後の全体会で、各グループで話し合ったことについてJamboardをそのまま活用して発表を行うことで、全職員での共有を行った(図3)。

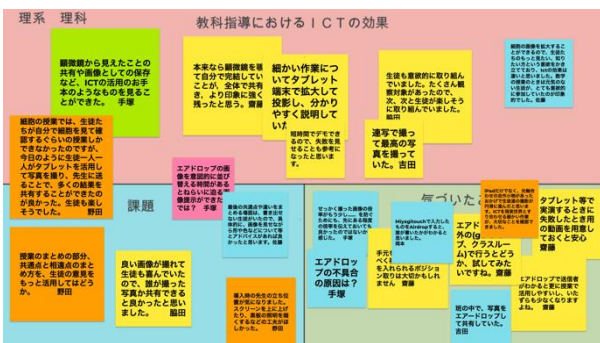


図3 研究授業の事後検討会のJamboard

2つ目は、研修担当者が事前に職員にフォームでアンケートを取り、それらをまとめ、全体に発表することで全職員の実践の共有を図った。

4 ICT活用した各教科の主な実践例(表2)

表2 校内研修の内容一覧

教科	主な実践例
国語	・Jamboardを活用した品詞の整理 ・Kyenoteを活用した短歌の創作活動 他

数学	・Jamboardを活用した図形の分類(協働による意見整理)・Classroomを活用した上級問題の出題 他
社会	・Jamboardを活用した権利の優先順位について、協働による意見整理 他
理科	・「理科の部屋」サイトから自分に合った「思考を深める」素材の活用 他
英語	・Meetによる、海外との交流(学校の壁を越えた学習)・Clipsによる発音練習(個に応じた学習) 他
保体	・タイムシフトカメラを活用し、遅延動画を活用した高跳びのフォーム確認(思考を深める学習) 他
音楽	・GarageBandを活用した合奏(個に応じた学習) ・MiyagiTouchを活用した楽譜指導 他
技術	・Clipsやスプレッドシートを使った栽培の生育動画や共同観察記録(協働制作) 他
家庭科	・ClipsやiMovieによる、保育園実習のおもちゃ作り説明動画の作成(表現制作、協働制作) 他
保体	・タイムシフトカメラによる、遅延動画を活用した高跳びのフォーム確認(個に応じた学習) 他
美術	・iMovieを活用したアニメーションづくり(表現制作)、classroomを活用した評価 他
道徳	・Jamboard, フォーム, 伝思黒板等を活用した、協働による意見整理 他

5 終わりに

「+タブレ 2.0」に収録されている研修資料を活用することで、学校の実態に合わせた研修を負担なく行うことができた。そして、ステップ2～ステップ4について繰り返し研修を重ねていくことで、全職員のICT活用指導力の飛躍的な向上が期待できることが分かった。

更に令和3年度全国学習状況調査の「あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見交換したり、調べたりするのに、どの程度使用していますか?」の回答結果(図4)より、生徒のICTを活用した協働学習・個別学習の推進につながったと考えられる。今後も校内研修を継続し、授業でのICTの効果的な活用について全職員で探っていききたい。

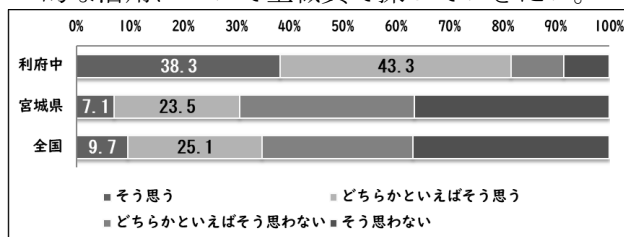


図4 全国学習状況調査の結果(令和3年5月27日実施)